

「未来をつくる CSR3.0 企業」 2012 年度 循環ワーカー養成講座

主催：特定非営利活動法人 循環型社会研究会(略称:循環研)

協賛：(株)サティスファクトリーインターナショナル、(株)ウェルシィ、(株)ノルド社会環境研究所

後援：環境省、中央区

循環ワーカー養成講座は、環境問題と循環型社会に関する基礎的な知識と新しい視点を提供する年 6 回の連続講座。今年のテーマは「未来をつくる CSR3.0 企業」です。

CSR とは企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)。多様な社会的課題の解決に対する企業の社会的責任は重くなりつつありますが、一方で社会的課題の解決の責任を企業にのみ押し付けることもできません。

循環研が考える CSR3.0 とは、「ステークホルダーとともに社会的責任を共有しながら経済・社会・環境価値を共創し、持続可能な社会を構築する CSR」です。慈善活動等の本業以外の社会貢献である CSR1.0 や、本業を通じた社会貢献である CSR2.0 を超えて、ステークホルダーとともに「SR シェアリング(社会的責任の共有ないし分かち合い)」をしながら社会的な課題の解決をめざす企業のあり方、実践を学んでいきたいと思えます。

- ・ 月に 1 回程度、アフター 5 の開催なので、無理なく受講できます。
- ・ 少人数の講座なので、講師、受講生の交流による人脈の拡大と知恵の循環が図られます。
- ・ 受講料 1 万円には循環研の会費(年間 6,000 円)も含まれます。会員になりますと、6 回の本講座のほか、循環研セミナーやフィールドワークなどにも会員割引料金で参加できます。

【講座スケジュール】

	講座タイトル	講師	日程
1	未来をつくる企業の見つけ方	株式会社日本政策投資銀行 環境・CSR部長 竹ヶ原 啓介氏	6 月 22 日(金)
2	巨大地震到来へ備えあれ —ウェルシィの地下水飲料化ビジネス	株式会社ウェルシィ 代表取締役社長 福田 章一 氏	7 月 12 日(木)
3	地域との共創共生を目指した価値の創造	大和ハウス工業株式会社 CSR 推進部 社会共生グループ 主任 内田 雄司 氏	8 月 24 日(金)
4	グローバルな CSR への取り組み —環境活動から労働問題まで	株式会社アシックス CSR・サステナビリティ室 室長 吉川 美奈子 氏	9 月 14 日(金)
5	自然やコミュニティと調和する資源開発	住友金属鉱山株式会社 安全環境部 CSR 兼リスクマネジメント担当部長 元木 秀樹氏	10 月 16 日(火)
6	バイオマスエネルギー産業の将来展望	三菱商事株式会社 新エネルギー・電力事業本部 バイオ燃料第二チームシニアマネージャー 澤 一誠 氏	11 月 14 日(水)

※講師の都合等により、講座内容、日程が一部変更になる場合がございますのでご了承ください。

- ◇ 講座内容： 連続 6 回の講座(1 回 2 時間程度。講義 90 分、質疑応答・意見交換 30 分)
- ◇ 対 象： 環境問題に関心をもつ一般市民、学生、企業・団体の環境担当者など
- ◇ 受 講 料： 全 6 回 1 万円(循環研究会費 1 年分 6,000 円込み)
個別講座の単独受講は、循環研会員千円/回、非会員 2 千円(中央区民は千 5 百円)/回、
※学生の方(但し、30 歳未満)は、半額料金になりますので、当日証明できるものをご持参ください。
- ◇ 定 員： 30 名(定員になり次第締め切らせていただきます)
- ◇ 開催時間： 各回とも 18:30~20:30(開場は 18:00 からです)
- ◇ 会 場： ノルドスペース セミナールーム
東京都中央区京橋 1-9-10 フォレストタワー 8F
JR 東京駅、地下鉄京橋駅、日本橋駅、宝町駅から徒歩 5~10 分
駐車場はありません。温暖化防止のためにも公共交通機関をご利用ください。

【講師のプロフィール】

竹ヶ原 啓介(たけがはら けいすけ)氏

1966年生まれ。1989年一橋大学法学部卒、日本開発銀行に入行。1995年同行フランクフルト駐在員、2005年同行フランクフルト首席駐在員などを経て、現在、日本政策投資銀行環境・CSR部長。著書に「環境格付—環境金融の情報基盤」(金融財政事情研究会 2010.08)、「ドイツ環境都市モデルの教訓」(エネルギーフォーラム 2011.11)などがある。

福田 章一(ふくだ しょういち)氏

株式会社ウェルシ代表取締役社長。1939年、愛知県新居浜市生まれ。中学卒業後、新居浜市役所へ勤務するかたわら、夜間高校へ通う。1958年、航空自衛隊へ入隊。「空対空ミサイル」の技術を学び、教官に抜擢される。自衛隊を除隊後、電気店勤務を経て、1980年、フクダ電気工事を創業。1985年、株式会社ウェルシを設立、節電機器などの製造販売。1997年に第二創業事業として地下水ビジネスに乗り出し、新市場を創出。2008年度拓殖大学客員教授。「EOY JAPAN2008」のファイナリストとして受賞。座右の銘は「感謝」。尊敬する人物は松下幸之助。趣味は読書とゴルフ。著書に「巨大地震到来へ備えあれ」(IN通信社 2012.06)がある。

内田 雄司(うちだ ゆうじ)氏

大和ハウス工業株式会社 CSR 推進部 社会共生グループ 主任。1999年に大和ハウスに入社して以来、7年半経理部門に所属し、2006年の10月に、『社内公募制度』を利用して現在のCSR推進部へ移り、社会貢献活動やコミュニケーションを担当する『社会共生チーム』を担当する。大和ハウスグループが、ハウスメーカーの枠を超え「アスファケツノ」をキーワードにしたビジネスによって社会に貢献していくためにCSRの観点から支援している。

吉川 美奈子氏(よしかわ みなこ)氏

株式会社アシックス グローバル法務・コンプライアンス統括部 CSR・サステナビリティ室 室長。ドイツ銀行勤務後、1999年よりP&Gマーケティング、広報、CSRに従事。シンガポール赴任を経て、2011年アシックスへ。

元木 秀樹(もとき ひでき)氏

住友金属鉱山株式会社 安全環境部 CSR 兼リスクマネジメント担当部長。1959年神奈川県生まれ。1983年早稲田大学政治経済学部卒、同年現勤務先入社。人事労働系業務を経験し、広報室、リスクマネジメント推進部などに所属。2008年4月より現職。

澤 一誠(さわ いっせい)氏

1980年早稲田大学理工学部(機械工学科)卒業後、三菱商事(建設機械部)入社。1987-91年イラン(テヘラン)、1996-98年ミャンマー(ヤンゴン)に駐在。2000年以降バイオマスエネルギー関連業務に従事している。経産省、農水省、文科省、NEDO、JBIC等政府機関、大学、各種研究機関、民間企業・団体主催のセミナー、インドネシア、タイ等政府主催の海外シンポジウムにて講演を行なう。産総研(経産省)の自動車新燃料及びバイオマスエネルギーの外部評価委員(2007年～)、経産省の「バイオ燃料の持続可能性基準」検討会委員(2008-2010年)、NEDO「2010年バイオマスエネルギー導入ガイドブック」検討委員、7府省「バイオマス事業化検討チーム」委員(2012年2-6月)等各種委員を歴任。

循環型社会研究会(Workers Club for Eco-harmonic Renewable Society)とは

循環型社会研究会は、10年来有志で環境問題現場でのフィールドワークを中心に活動しておりましたが、2002年の7月3日に特定非営利活動法人の法人格を取得しました。

「次世代に継承すべき自然生態系と調和した循環型社会のあり方を地球的視点から考察し、地域における市民、事業者、行政の循環型社会形成に向けた取組みの研究、支援、実践およびそのための交流を行う」ことを目的として活動しております。単に、資源のリサイクルや物質循環に注目するだけでなく、自然生態系と調和した未来世代にとっても維持更新が可能な仕組みを備えた具体的な地域における循環型社会づくりと、それを担う「循環ワーカー」の養成がわれわれのテーマです。

本講座受講のお申し込み・お問い合わせは・・・

特定非営利活動法人 循環型社会研究会 事務局

東京都中央区京橋 1-9-10 フォレストタワー7F 株式会社ノルド社会環境研究所内

Tel. 03-5524-7334 Fax. 03-5524-7332

E-mail junkan@nord-ise.com Homepage <http://www.nord-ise.com/junkan/>